

ブレーキは早  
目にスピードは控え目に  
もう一度よく見て渡れ  
手をあげて

交通事故による死者は、一昨年から減少の傾向をたどり、年ぐらべ十五パーセント前後も減っているのです。この増加傾向が今後も続くなれば、空前の事故と被害者の出る年となりうる、非常

## 芦屋市民は黄色いはねを胸に

下では一月から三月末まで、はや九千件をこえ  
る事故が発生し  
ており、死者は百五十九人、負傷者は五千三百人など、いすれも昨年期間に

春の交通安全運動 歩行者と自転車の安全が重点

全運転管理の確保

④車両の完全整備の励行  
⑤道路交通環境の整備改善  
⑥交通事故被害者に対する相談  
活動の積極化

年ぐらべたま逆に上昇するという心配な現象を示しています。兵庫県回ほどこに、歩行者と自転車乗り

市役所精道町93 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集 公聴広報課 印刷所 オール出版印刷KK 毎月1回5日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可(定価2円)

# 広報あしや

昭和41年 5月5日 第198号

芦屋市の人口と面積

一月1日推計人口一

人口総数 63,684 世帯数 17,339

男 30,822 面積 16.07km<sup>2</sup>

女 32,862

15.07km<sup>2</sup>



市役所前の芝ふの中にできた市民憲章碑は、6万市民の生活指標を呼びかけています

## まちを緑と花で

芦屋市民憲章推進委員会では、昭和39年5月3日の憲法記念日でした。それからや二年の月日が流れましたが、一段と美しくなった芦屋の町なり公園の草

花が象徴するように、市民憲章の精神はだしていだいに多くの市民の心に浸透し、根を張り集め、これを市民生活をする上で旗印にしてきましたといえます。そのため委員会は、憲章をより広く、より深く市民の間に徹底させる普及計画と、具現化する上での旗印に

芦屋市民憲章推進委員会では、憲章をより広く、より深く市民の間に徹底させる普及計画と、具現化する上での旗印に

花を育てる人 × 荒らす人

花で市章をかたづいた花壇を作りましたが、これに要した鉢の数は全部で五百六十九個です。なお、同課では、枯れた街路樹のあとに桜八本をはじめ、柳、ボブなど合わせて百八十七本の植木をもさせています。

一方、芦屋観光協会では、城山登山道に桜の苗木五十本を植樹し

かたづいているのは付近にお住まいのご老人です。老人クラブ連合会の提唱で、昨年地元町の有志

の咲く木や草花を植えてくださる会が朝に夕に手を貸してます。また、自分のためより通じて、美しくなった公園の花が象徴するのに、花の使命をもつたとして、花の誕生日をはじめとする環境設けたり、花の生垣を作っている市民も多くなってきました。できればどのお宅も家の外わりに花の咲く木や草花を植えてくださる

いの老人です。老人クラブ連合会が朝に夕に手を貸してます。

それだけはおやめください。

花で市章をかたづいた花壇を作りたのに続き、四月十二日には市と共催で植樹式を若園町の有楽公園で挙行し、兵庫県の「花の使節」

が持参した「ようこひの木」を含め十三本の桜を同公園に植えま

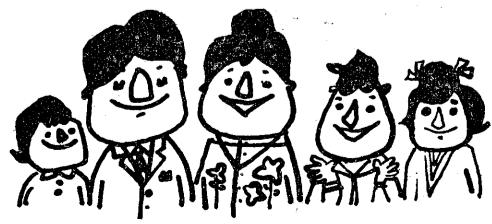
## そして5月は児童福祉月間

### 見なおせみんなの子の姿、

「児童をしあわせにする運動」展開中

#### 児童憲章

- 児童は、人として尊ばれる。
- 児童は、社会の一員として重んじられる。
- 児童は、よい環境の中で育てられる。



毎月第3日曜日は

「まちも心も美しくする日」であり

「家庭だんらんの日」もあります

一月は15日がその日に当たります

主唱 芦屋市青少年問題協議会・芦屋市社会福祉協議会・芦屋市・芦屋市教委





